

科目名	保育実習Ⅱ				担当	千葉 直紀・堤 裕美		
形態	実習	単位数	2	開講時期	2年通年	実務経験	保育士として保育施設で勤務経験あり（千葉）	
必修	保育士：選択必修				ナンバリング	Y5106	DPとの関連	免1・免2
授業概要	本科目は、実習園（保育所）での実習科目である。実習を行うためには、原則として「保育所実習Ⅰ」をすべて履修済みであるとともに、「保育実習Ⅱ事前指導」に14回出席し、幼児教育学科の実習許可会議によって実習を許可されることが必要である。							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める 2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める 3. 既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ 4. 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する 6. 保育士としての自己の課題を明確化する 							
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所の役割や機能の具体的展開 <ol style="list-style-type: none"> ①養護と教育が一体となって行われる保育の理解 ②保育所の社会的役割と責任の理解 2. 観察に基づく保育理解 <ol style="list-style-type: none"> ①子どもの心身の状態や活動の観察 ②保育士等の援助や関わり ③保育所の生活の流れや展開の把握 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 <ol style="list-style-type: none"> ①環境を通して行う保育、生活・あそびを通して総合的に行う保育の理解 ②入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 ③関係機関や地域社会との連携・協働 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 <ol style="list-style-type: none"> ①全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 ②作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 5. 保育士の業務と職業倫理 <ol style="list-style-type: none"> ①多様な保育の展開と保育士の業務 ②多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6. 自己の課題の明確化 							
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習を通して保育の理論と技術を総合的に学ぶことによって、保育士としての資質・能力・技術を習得することができたか 2. 子育て支援に関する基礎的知識及び技能を身につけることができたか 以上の観点から実習園の園長が評価するとともに、実習日誌の内容及び手続き等から、保育技術及び職業倫理の修得の程度を実習委員会が評価する 							
評価方法	その他 100% (実習園による評価 60%・実習委員会による評価 40%の割合で点数化し総合的に評価する)							
フィードバック 方法	反省会や日誌での指導、責任実習に向けての指導を受ける							
アクティブ ラーニング	積極的に質問をし、疑問や課題をもって毎日の実習に臨む							
教科書	『保育所保育指針』、『実習ガイドブック』 上田女子短期大学							
参考書	『教育・保育実習のデザイン』 萌文書林							
履修条件	「保育実習Ⅱ事前事後指導」15回を受けることが実習履修の要件である。 また、本学幼児教育学科において定める実習実施基準を履修の条件とする。							
授業外学習	保育所保育指針を精読し、保育者に求められる資質・能力について、自分なりの考えをまとめておくこと							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する。							